

ACNS 5.x.x でのコンテンツ ルータとコンテンツ エンジン間の対話について

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[情報](#)

[ACNS 5.x.x の CR/CE 相互対話の概要](#)

[CR/CE 接続のトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Application and Content Networking Software (ACNS) 5.x.x のコンテンツ ルータ (CR) と Content Engine (CE) の相互作用について説明します。このドキュメントでは、CE が CR と通信可能であることの重要性について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この資料は ACNS 5.0 に相当以上にです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

情報

[ACNS 5.x.x の CR/CE 相互対話の概要](#)

ACNS 5.x.x では、CE は CR に通信を始めます。IP アドレスに達できませんデータベースのその CR のためにリストされている CE の必要。CR は CR に DNS クエリの送信から CE をブロックするファイアウォールの後ろに置くことができません。

CE は CR に稼働して、要求を奪取できることを CR に告げるためにキープアライブを作ります。これは CE がポート 53 で CR に DNS 要求を作るときされます。これはただのキープアライブで、一般の名前解決のためではないです。通常、CE に Ip name-server (ない CR) として団体 DNS サーバがあります。CE の正常な DNS サーバに DNS 要求を見るはずですがまた 30 秒およそ毎に CR に要求を見るはずです。

[CR/CE 接続のトラブルシューティング](#)

CE は CR への接続に 30 秒およそ毎にする必要があります。CE が通信していることを確認するために CR のこのコマンドを発行して下さい:

```
tcpdump port 53
```

CR は CDM GUI のオンラインを示す必要があります。CR がオンラインではない場合、判別するなぜ必要があります。オンライン (であることを認識するためにオンラインが、CE を 6 分かかるかもしれないければ待っていれば)、と追加 30 秒; tcpdump コマンド出力のポート 53 コミュニケーションを見るはずです。

これらのコマンドはトラブルシューティングに役立ちます:

- **コンテンツ ルーティングが summary** — CR 簡単だったハイブリッド ルーティング テーブルのすべての Web サイトのための要約統計量を表示することを示して下さい。
- **show statistics コンテンツ ルーティング dns** — DNS 統計情報をルーティングする簡単ハイブリッド コンテンツを表示する。
- **show statistics コンテンツ ルーティング セリウム**—規定された CE の簡単ハイブリッド コンテンツ ルーティングを表示する。

カバレッジ ゾーンが正しく設定されることを確かめて下さい。詳細については [ACNS ネットワークでルーティングする設定コンテンツ要求](#)を参照して下さい。

[関連情報](#)

- [Cisco Application and Content Networking Software \(ACNS \) サポート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)